発　行　日：２０２５年11月１日　第64号
発行責任者：岐阜高山教務所長　海老原　章
Tel（058）266-1378
fax（058）266-1392

Shinran 850th

―＜宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年･立教開宗八百年慶讃テーマ＞―

南無阿弥陀仏　人と生まれたことの意味をたずねていこう

岐阜高山教務所だより

岐仏教公開講座のご案内（11/20）

日　時　11月20日（木）午後２時から

講　師　しんめいＰ　氏
　『自分とか、ないから。教養としての東洋哲学』著者

講　題　「虚しさ」について

会　場　岐阜高山教務所　1階講堂

聴講料　年間聴講券（5,000円）　当日券（500円）

【先生からのメッセ―ジ】

私が「虚しさ」にさいなまれている中で出会った東洋哲学について、親鸞聖人や、「七高僧」のお一人龍樹菩薩にも触れながら、お話させていただきます。私は学者でも僧侶でもございませんが、私が東洋哲学に出会って何を感じたのかをお伝えさせてください。

しんめいＰ氏著書　22万部ベストセラー
「読者が選ぶビジネス書グランプリ 2025」
総合５位　リベラルアーツ部門２位
「第15回啓文堂書店ビジネス書」大賞
「トーハン 2025 上半期ランキング」ノンフィクション ６位　　発売から１年半経った今なお、書店で平積み販売中。
ご一読、ご参加ください。

高ひだ御坊真宗公開講座のご案内（12/4）

飛騨御坊真宗教化センターでは、多くの方々に仏法に触れていただく機会となるよう、各団体の御協力で、真宗公開講座を開催しています。

つきましては下記の通り開催いたしますので、有縁の方々とお誘いあわせのうえ、ご聴聞ください。

日　時　12月４日（木）午後2時から
講　師　北條　親善　氏（岡崎教区　成福寺住職）
講　題　「目の前のお方をただびとと思うなよ　―山谷での炊き出しを通して―」
参加費　500円
会　場　高山別院御坊会館
主　催　高山地区真宗同朋会

今月のテレホン法話

テーマ
いのちの出会い「真実の声を」
℡(058)265-0033
11月1日～末日
藍川　竜弥　氏（第1組　圓龍寺）

高岐阜別院報恩講への団体参拝について

下記の通り高山地区より岐阜別院報恩講への団体参拝を予定しておりますので、是非お誘いあわせのうえご参加ください。

期　　日　12月10日(水)
参 加 費　10,000円
申込方法　先月号に同封しました申込チラシにて
11月21日までに高山支所へ直接提出又はFAXにてお申込みください。

岐寺子屋「防災教室②」

日　時　11月14日(金)　14時から
会　場　岐阜高山教務所
講　師　栗田　暢之氏（第11組仁成寺
・レスキューストックヤード代表理事）
『ご門徒さんと考える寺院のための災害対策ハンドブック』を通して学びます。

教務所・支所事務休暇について

岐阜高山教務所及び高山教務支所は下記の期間事務休暇をいただきますので、ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

期　間　①11月17日(月)～18日(火)
②12月29日(月)～1月6日(火)
対　象　岐阜高山教務所及び高山教務支所
事　由　①東海連区所員研修会のため
②年末年始事務休暇のため
その他　事務納めは12月26日(金)まで、
事務始めは1月7日(水)からになります。

住職就任

９月２８日就任
第３組 上徳坊　宮田　正純 様

１０月２８日就任
第３組 正浄寺　森　智見 様

11月の主な行事

1日～3日高山別院報恩講
5日(水)〔13時半〕岐阜支部坊守会常任委員会岐
6日(木)〔14時〕帰敬式学習会岐
10日(月)〔13時〕サラナン岐
11日(火)〔14時〕解放推進協議会輪読会高
12日(水)〔14時〕『御同朋を生きる』輪読会岐
14日(金)〔14時〕寺子屋　防災教室②岐
17日(月)～18日(火)　教務所及び支所事務休止
20日(木)〔14時〕帰敬式推進室高
〔14時〕仏教公開講座岐
21日(金)〔15時〕寺院活性化支援室
25日(火)〔14時〕慶讃常任委員会
〔19時〕教化学研修室岐
〔19時〕教化研究所高
26日(水)〔13時〕サラナン岐
27日(木)〔9時〕同推協清掃奉仕

岐帰敬式学習会の開催について

このたび、帰敬式（おかみそり）の意味を確かめる場となることを願い、下記のとおり帰敬式学習会を開催いたしますので、お誘い合わせのうえご参加のほどよろしくお願いいたします。

日　　時　11月６日（木）　午後2時～3時30分
会　　場　岐阜高山教務所
講　　師　水野　純明　氏　（岐阜地区教化センター委員）
対　　象　帰敬式受式予定者または、帰敬式を今後受けたいと考えておられる方、
　　帰敬式をお寺で執行する予定のお寺様など、どなたでもご参加ください。
申　　込　岐阜高山教務所（℡058-266-1378）までお申し込みください。
持 ち 物　念珠・筆記用具
参 加 費　無料

コラム　「所員のつぶやき」

私の妻方の祖父母は2人とも、90歳をこえておられます。自宅で家族（娘夫婦）と一緒に暮らしているのですけれども、祖父は最近、入退院を繰り返し、現在は自宅療養のため、一日のほとんどをベッドの上で過ごされています。

少し前の話になりますが、妻の実家に顔をだしてみると、おじいちゃんは、よく新聞のお悔やみ欄を真剣な表情で眺めておられました。おそらく新聞を通じ、これまで、数多くの友人といった方々の訃報にふれてきておられることだろうと思います。

妻の実家に宿泊したときのある日の出来事でした。突然、真夜中におじいちゃんが私のところに会いにこられ、「死ということと、どういう風に向き合ったらいいのか」ということで、正直な悩みを告白されておられました。妻の実家はお寺ではなく、その言葉は僧侶である私に向けて言われたものでありました。

それから数日がたったある日の晩、妻の実家での家族団らんの折、食卓に目をやってみますと、おじいちゃんが連れ合いのおばあちゃんや、娘さん（私の妻の母親）に向けて、小さな声ながらも「今までありがとう」という言葉を、丁寧に丁寧にかみしめるように伝えておられました。祖父と同じく90歳をこえるおばあちゃんは、「あんた突然やめてやー」と照れくさそうに言われていました。そして、娘にあたる妻の実母も「一体、どうしたの？」と声をかけておられました。おじいちゃんからしたら、自分自身の死ということと真剣に向き合う日々の中で、どうしても言わずにはおれない言葉だったのではないでしょうか。

最近、新聞記事で見かけたのですが、日本財団という組織が、遺言にちなんだ川柳を募集しておりまして、家族への想いを込めた川柳等が投稿されています。昨年、その「ゆいごん川柳」において大賞を受賞した作品が、「遺言を書いたつもりが　感謝状」というものでありました。遺言を伝えようと思っていたのに、いつしか感謝状になっていたという心に染みるような作品であり、きっともらった家族にとりましても生涯の宝物になるような言葉であったと思います。

食卓で目の当たりにした光景、感謝の言葉を丁寧にお伝えになられていた祖父の姿に私は胸がうたれました。病気になることや、大切な人との別れ、死んでいくことも人間の悲しみだと思いますが、その悲しみを通してこそ、大事なことに気づかされていく世界があるということを、私は祖父のお姿からお教えいただいたものとしていただいております。

岐阜高山教務所　印牧　淨

２０２５年度　経常費早期完納の御礼

2025年度宗派経常費（9月30日早期完納締め）

〇収 納 率：59.5%　〇完納寺院：145 カ寺

上記の通りご納入いただきましたこと、厚く御礼申しあげます。

引き続き、皆様方のご理解とご協力のほど、宜しくお願い申しあげます。

教区慶讃事業推進委員学習会　開催報告

10 月 2 日、教区慶讃事業推進「委員会」及び「慶讃事業趣旨に学ぶ学習会」を開催した。

委員会では、教務所長巡回での「慶讃事業計画（素案）」への質問・意見を報告した。

趣旨に学ぶ学習会では、講師の四衢亮氏（慶讃事業推進委員会　総務会）から、テーマ「青少幼年教化の願い」として講義をいただき、その後、小委員会に分かれて座談を行った。

慶讃事業推進計画（素案）では、「青少幼年教化プロジェクト」として、寺院が子ども会、おつとめ練習会を始める後押しとなる事業を展開することとしている。

令和６年能登半島地震災害救援金 目録を手交

「令和6年能登半島地震災害救援金」につきまして、皆様より継続して多大なるご支援を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

先月号でお知らせいたしましたとおり、本年9月30日、教区を代表して藍川竜司教区会議長、四衢亮教区会副議長が能登教務所を訪問し、完恵能登教区会議長に災害救援金の目録をお届けしました。翌々日には、目録のとおり、400万円の送金を行っております。

教区としては、今後も継続し、岐阜高山教務所・高山教務支所において救援金の受付を行ってまいります。息の長い支援となるよう、引き続き、皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

教区門徒会員の異動について

このたび、下記のとおり教区門徒会員の異動がありましたので、お知らせいたします。

2025 年 9 月 9 日付辞任　　大坪善典　氏（第 15 組養泉寺）

2025 年 9 月 10 日付就任　　岩尾善信　氏（第 15 組覺證寺）